

運動不足解消サービスについて

1910210 木原蓮

1910399 多田己典

2110336 清水瞭平

1920024 野村卓生

7%

「Q.普段、運動を行う頻度を教えてください。」(n=490)

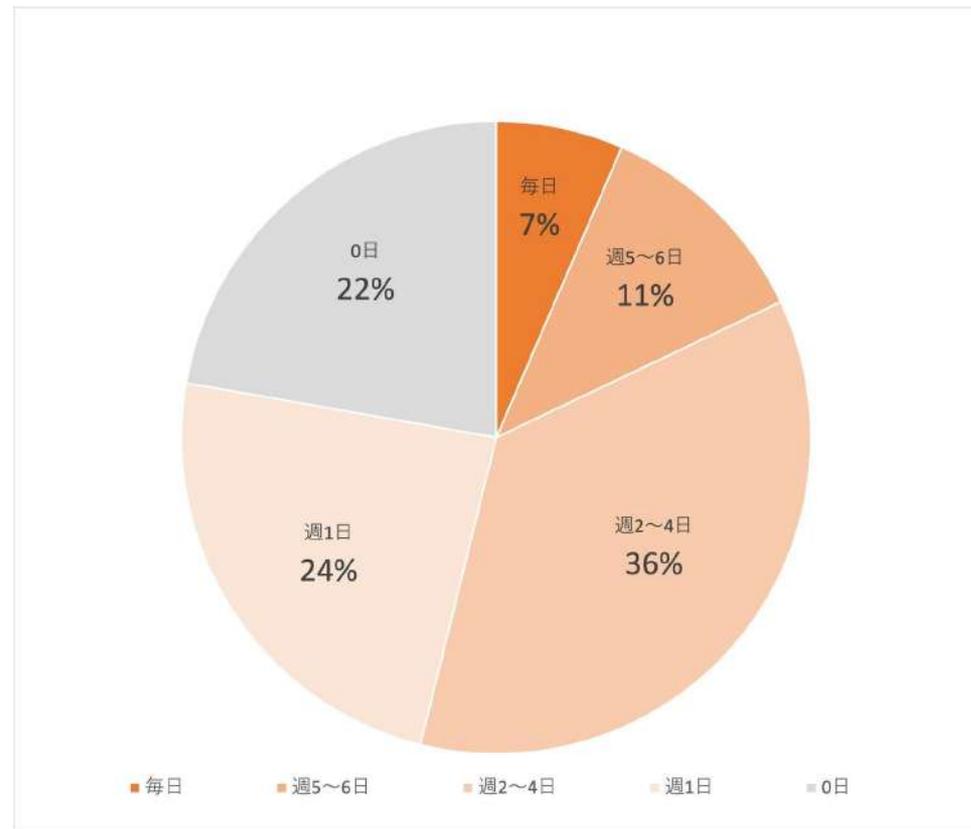
「毎日」…7%

「週5-6日」…11%

「週2-4日」…36%

「週1日」…24%

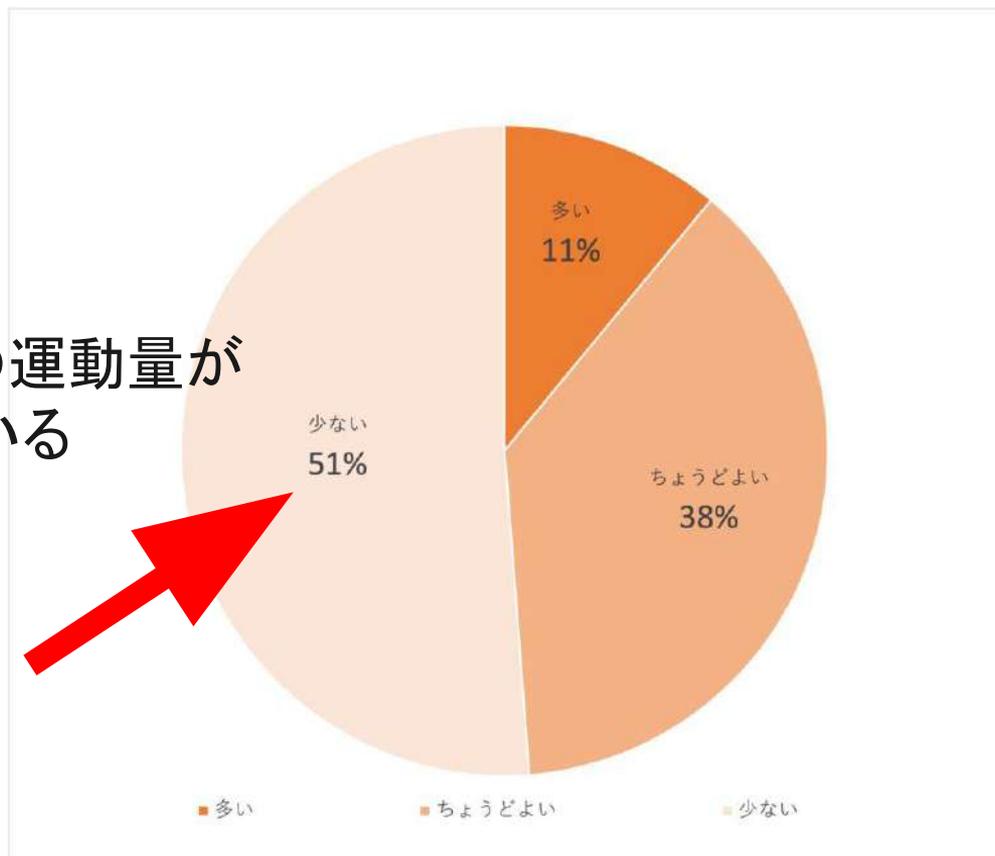
「週0日」…22%



引用: <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000013.000075889.html>

調査期間: 2022年04月21日(木)~2022年04月23日(土)
調査対象: 全国、ガクセイ協賛に登録する約600の学校の学生
調査方法: インターネット調査

「現在の自分の運動日数についてどう思いますか？」(n=490)



過半数は自分の運動量が少ないと感じている

引用

: <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/00000013.000075889.html>

調査期間: 2022年04月21日(木)~2022年04月23日(土)

調査対象: 全国、ガクセイ協賛に登録する約600の学校の学生

調査方法: インターネット調査

背景

「現状、大学生の運動不足が顕著になっている」

課題

(運動不足のリスク)

- ・生活習慣病
- ・肩こりや腰痛
- ・生活習慣の乱れ
- ・メンタルの不調

「運動習慣の無い運動不足の大学生にどうやって運動してもらおうかどうか」

なぜ運動に対するハードルが高いのか

- めんどくさい
- モチベーションが上がらない
- 運動する場所がない
- お金がもったいない

なぜ運動に対するハードルが高いのか

- めんどくさい
- モチベーションが上がらない <---
- 運動する場所がない
- お金がもったいない

OSIZAP

内容

運動中に推しが応援してくれるサービス

対象

声の推しがいる人



ベンチプレスでの実験結果



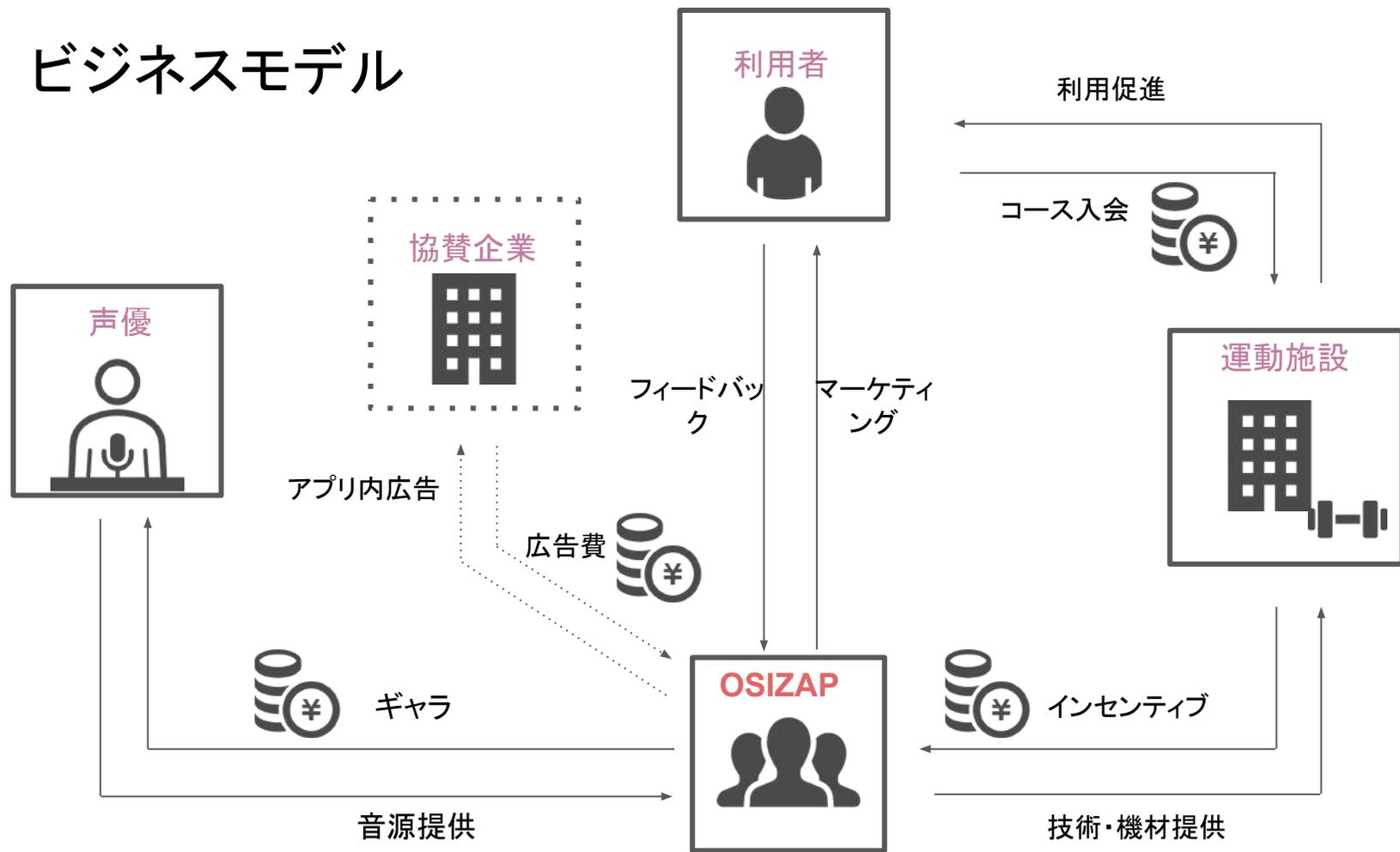
T氏: Before 14回 → 声優(女性)の応援Voice入り After 23回 (1.64倍)

K氏: Before 15回 → 機械音声の応援Voice入り After 14回 (0.93倍)

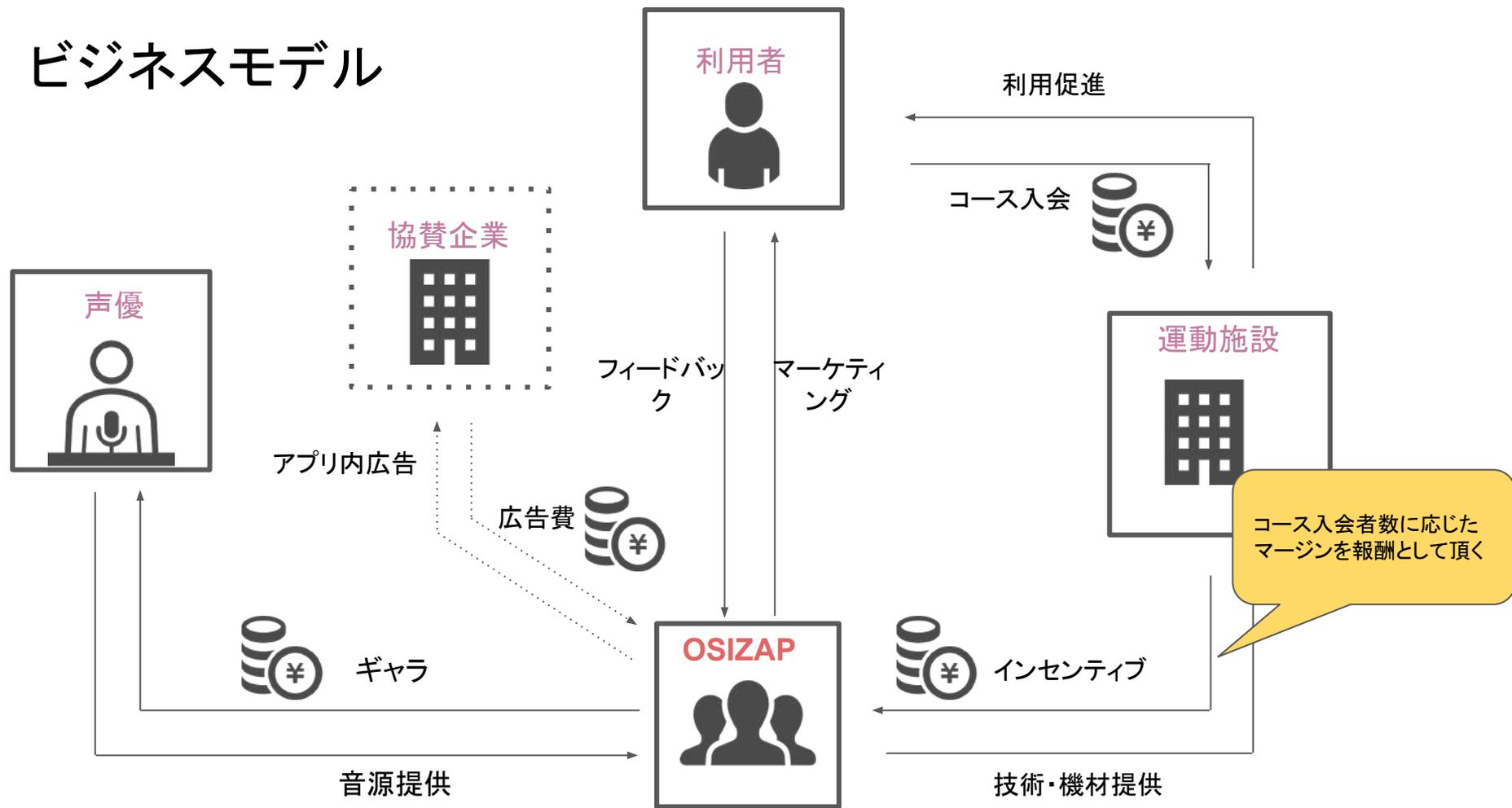
S氏: Before 6回 → ひろゆき 大喜利を流す After 9回 (1.50倍)

N氏: Before 14回 → ひろゆき 大喜利を流す After 16回 (1.14倍)

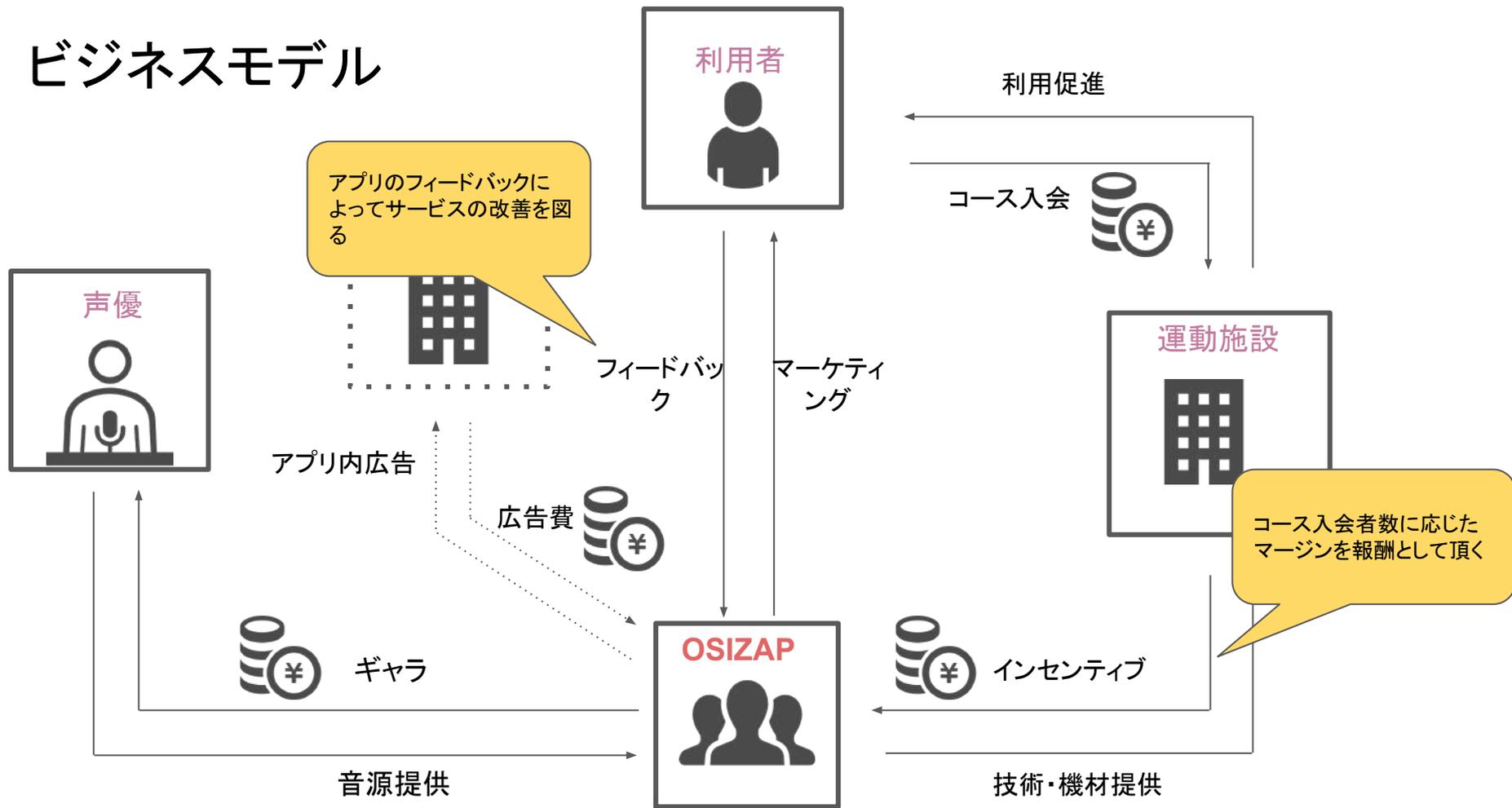
ビジネスモデル



ビジネスモデル



ビジネスモデル



今後の課題について

- ・技術開発

→自動で運動量などを計測する、運動量に応じて音声を再生する等

- ・音声の入手

- ・協力企業の募集

などなど...